

岡山県立岡山工業高等学校 いじめ防止基本方針

令和6年4月 策定

いじめに関する現状と課題

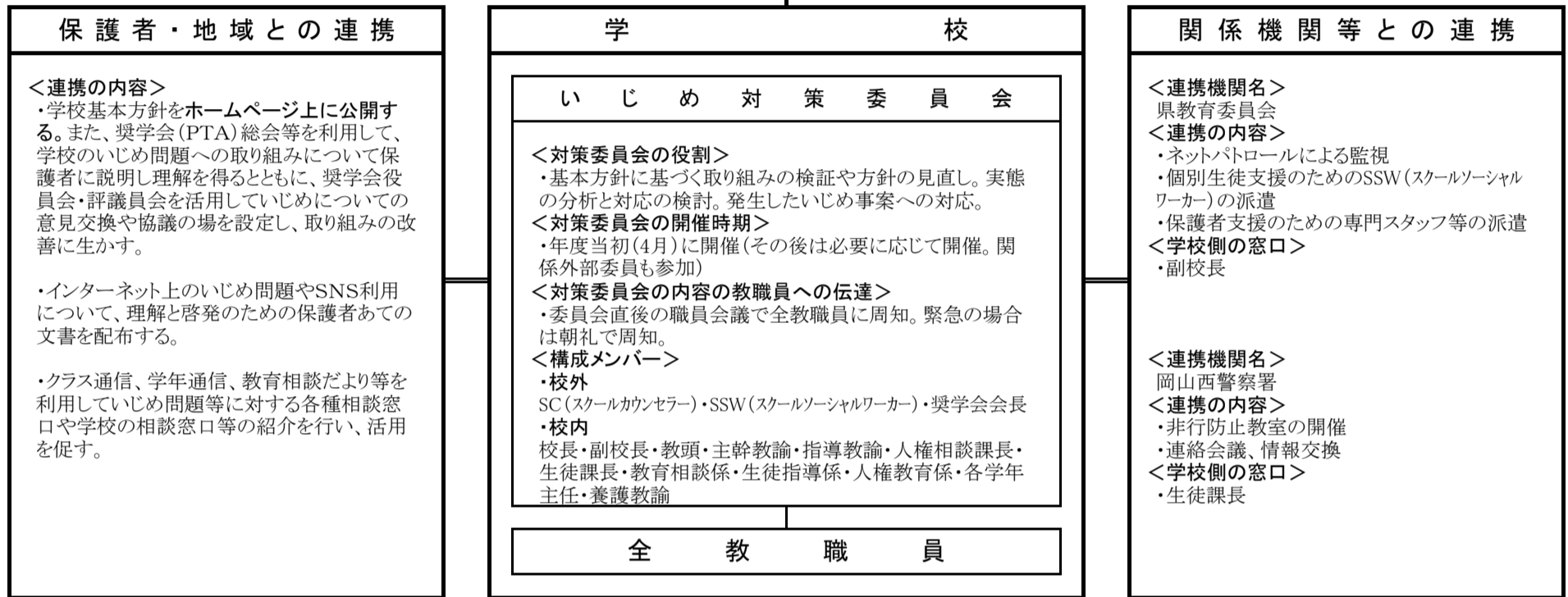
- ・学校生活アンケートによると、いじめ認知件数はほとんどなく被害を訴える生徒も少ない。これは本校の目指す、ものづくり、資格取得、部活動の推進による目的を持った生徒が多く、落ち着いた学校生活を送ることができているからだとと思われる。しかしながら、1年生は中学生気分が抜けきらず、精神的に幼いため、からかいや悪ふざけなどの加害・被害が若干みられる。
- ・本校は実習科目も多く生徒とふれ合う機会も多い。些細な変化、様子を観察し、早期発見・早期の対応を教員間の情報共有と連携のもとすすめることが重要である。
- ・多くの生徒がSNS等、ネット利用をしていると思われるが、表面化していないいじめ問題、書き込みによるトラブルもあると思われる。情報モラルの向上、啓蒙活動を様々な教育活動の中で取り上げ、分掌相互の連携による横断的な取り組みが必要であると思われる。

いじめ問題への対策の基本的な考え方

- ・アンケートによる生徒のいじめに関する実態調査、面談等だけでなく生徒が示す些細な変化を見逃さないようにし、早期発見・早期対応を心掛け、学年、専門科はもとより、必要な情報の共有を図る。
- ・学習のみならず特別活動も充実を図る本校の方針に従って、授業やクラスでの活動、学校行事、また部活動・生徒会活動・地域連携による社会貢献活動等でコミュニケーション能力や自己実現能力を高め、お互いを認め合い、心の通じ合うあたたかい人間関係づくりを進める。
- ・SNS等の利用について、校内研修や生徒・保護者への情報モラル向上についての教育を推進する。

<重点となる取組>

- ・SNSの利用についての認識を深めるために、新入生への研修をできるだけ早期に実施する。
- ・全校生徒対象に、集会、クラス、学年の様々な活動の中で情報モラルに関する講演や授業を計画的に実施する。
- ・いじめに関するアンケート結果の分析と考察を行い、必要な情報の共有を図るとともに、早期対応に心掛け、生徒が訴えやすい環境を整える。
- ・STANDBYアプリによるいじめにつながる早期の相談や対応に努め、トラブルやいじめ等の未然防止を図る。



学校が実施する取組

①	いじめの防止	(情報モラル教育) ・ネット利用におけるいじめの防止のために情報機器の利便性ととも、情報を発信する責任を自覚し、適切に利用できる能力を身に付けさせるための情報モラルに関する内容のHR、学年集会、全体集会を計画的に実施する。 (教員研修) ・教職員の指導力向上のため、情報管理係等の協力のもとネット上のモラルやマナーに関する内容を含む研修を実施する。 (人間関係づくり) ・授業やHRでの活動、学校行事、委員会活動、部活動、また社会貢献活動等で、自己実現能力を高め達成感や充実感を得られる学校づくりを進める。
②	早期発見	(実態把握) ・生徒の実態を把握するためにアンケートを年2回実施し、1年生の早い時期に担任による面談等で気になる生徒を把握する。また生徒と触れ合う時間を生み出し、些細な変化に注意を払うことで早期発見を図る。 ・STANDBYアプリを生徒全員に登録してもらい、早期の相談や対応に努め、いじめ等の未然防止を図る。 (相談体制の充実) ・教育相談の教員と外部の専門家(カウンセラー)の活用を生徒・保護者に周知し、気軽に相談できる体制を整える。 (情報の共有) ・学年、専門科、教育相談、生徒課などの各会議で定期的に気になる生徒の情報交換を行い、内容によっては朝礼、職員会議等で情報の共有を図る。 (保護者への啓発) ・いじめの認知につながるように、家庭での生徒の様子など気になることがあればすぐに担任、教育相談への連絡をするよう周知する。
③	いじめへの対処	(いじめの有無の確認) ・本校の生徒がいじめの被害を受けたり、また関与している可能性を発見したら、速やかにいじめの事実の有無を確認する。 (いじめへの組織的な対応) ・教員が一人で抱え込まず、関係する学年の生徒指導係や学年主任、さらには専門科等に報告し、いじめへの組織的な対応を検討するためのいじめ対策委員会を開催する。 (いじめられた生徒への支援) ・いじめられた生徒の心のケアやその生徒を最後まで守り抜くことを最優先にし、当該保護者に対して家庭訪問等で正確な情報を迅速に伝え、今後の対応についての情報を共有するなど誠意を持って支援する。 (いじめた生徒への指導) ・いじめは絶対に許されない行為であり、相手の心身に及ぼす影響等に気付かせるなど、適切かつ毅然とした対処を行うとともに、当該生徒の周囲の環境や人間関係など、その背景を十分に把握し、保護者の協力を得ながら、健全な人間関係を育むことができるよう指導を行う。

達成目標

「学校生活に関するアンケート」を全校生徒に実施し回答を集計。上がってきたいじめ事案、いじめに類する事案の全てに早急に対応する(100%)
 短期間では解決が難しい事案に関しても、関係機関と連携しながら継続的に対応をする。